



平成 27 年度日本粘土学会技術賞を受賞 —粘土および鉱物の脆弱試料に対する薄片作製法の開発—

産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

地質情報基盤センター 地質標本館室 地質試料調製グループの大和田朗, 佐藤卓見, 平林恵理の3氏は, 「粘土および鉱物の脆弱試料に対する薄片作製法の開発」の業績により, 日本粘土学会から平成 27 年度の日本粘土学会技術賞を受賞しました (写真 1)。

地質試料調製グループでは, 「地質の調査」研究において必要な岩石薄片及び研磨片を作製しています。大和田氏は, 粘土および鉱物の脆弱試料に対して, 薄片作製工程において水や油を用いない乾式薄片作製法の開発に成功しています (大和田ほか, 2013)。この乾式薄片作製法の開発により, これまで困難とされたイモゴライトやマンガンクラストなど, 膨潤・収縮等水分による影響を大きく受ける脆弱試料に対して, 薄片の作製を可能にしました (大和田ほか, 2012 など)。

その後さらに技術開発を進め, 昆虫や人の歯などの生体の硬組織試料の薄片作製などにも成功しています。一方で, 薄片作製の高い技術を多くの方に知っていただくため, 薄片の技術を駆使して岩石や鉱物を素材に昆虫の造形物を作製し, 地質標本館に展示するなどのアウトリーチ活動も行っています。

今後も, 所内研究者から様々な試料が持ち込まれてくるものと思われませんが, 研究者との連携により, 困難を乗り越えて薄片作製による高度な研究支援を進めていくことが期待されます。

地質試料調製グループの今後の更なる活躍を期待しています。

大和田朗・佐藤卓見・平林恵理 (2012) 壊れやすい試料に対応した薄片作製技術—水を使わない「乾式研磨法」の開発と展望—。産総研TODAY, 2012-09, 21。

大和田朗・佐藤卓見・平林恵理 (2013) 新開発乾式法による脆弱岩石試料の薄片・研磨薄片製作。地質調査研究報告, 64, 221-224。



写真 1 平成 27 年度日本粘土学会 (山口大学) における授賞式の様子 (9 月 4 日)。左から, 黒田一幸会長, 大和田朗氏, 佐藤卓見氏, 平林恵理氏。